

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	国際テクニカル美容専門学校
設置者名	学校法人ティビィシー学院

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
衛生専門課程	トータルビューティ学科	夜・通信	1,860	160	
	美容学科	夜・通信	2,335	160	
	ブライダル・ホテル学科	夜・通信	1,890	160	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

刊行物「高等教育の修学支援新制度に伴う公表書類一覧」を当校1号館ロビーに設置することとし、誰でも閲覧可能な状態に据え置く。

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	国際テクニカル美容専門学校
設置者名	学校法人ティビィシー学院

1. 理事（役員）名簿の公表方法

学院ホームページ <https://www.tbc-gakuin.jp/common/pdf/2022/01.pdf>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	会社役員	令和4年5月 29日～令和6 年5月28日	教職員の勤怠管理
非常勤	会社代表取締役	令和4年5月 29日～令和6 年5月28日	校外学習の企画・運 営
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	国際テクニカル美容専門学校
設置者名	学校法人ティビィシー学院

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前年度のシラバスを鑑みて、各科目担当教員より意見等を聴取し検討。また、教育課程編成委員からの助言も組み入れシラバスを作成。</li> <li>・各種養成施設の指定を受けている学科については、養成施設の規則に則り、授業科目やシラバスを作成する。</li> </ul>	
<p>授業計画書の公表方法</p>	<p>刊行物「高等教育の就学支援新制度に伴う公表書類一覧」を当校1号館ロビーに設置することとし、誰でも閲覧可能な状態に据え置く。</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>成績評価および単位認定について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各授業科目の成績評価は、A, B, C, Dの4段階としC以上を合格として単位を認定する。</li> <li>・各授業科目の評価は、出席状況、各種試験、課題報告ならびに必要と認められる学習作業の結果を総合して行う。</li> <li>・総合評価は6割以上の得点をもって合格とする。</li> <li>・出席時間数が各授業時間の80%に満たない場合には、原則として単位を認めない。</li> </ul> <p>但し、養成課程については更にそれぞれの規程に従うものとする。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各科目の期末試験の結果を合計し、その平均点で成績順位を付けて分布を把握し学生の指導に役立てる</li> <li>・半期ごと及び年間の期末試験の平均点を100点換算で順位付けを行い得点分布をみる。</li> </ul>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>刊行物「高等教育の就学支援新制度に伴う公表書類一覧」を当校1号館ロビーに設置することとし、誰でも閲覧可能な状態に据え置く。</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>進級・卒業の要件について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①進級，卒業認定基準を満たしている者。</li> <li>②学費等が全納されている者</li> </ul> <p>上記の要件を満たし進級，卒業認定会議によって認定された者。 なお、①については「成績評価および単位認定について」と同様である。</p>	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>刊行物「高等教育の就学支援新制度に伴う公表書類一覧」を当校1号館ロビーに設置することとし、誰でも閲覧可能な状態に据え置く。</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	国際テクニカル美容専門学校
設置者名	学校法人ティビィシー学院

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	学院ホームページ <a href="https://www.tbc-gakuin.jp/common/pdf/2022/02.pdf">https://www.tbc-gakuin.jp/common/pdf/2022/02.pdf</a>
収支計算書又は損益計算書	学院ホームページ <a href="https://www.tbc-gakuin.jp/common/pdf/2022/02.pdf">https://www.tbc-gakuin.jp/common/pdf/2022/02.pdf</a>
財産目録	学院ホームページ <a href="https://www.tbc-gakuin.jp/common/pdf/2022/02.pdf">https://www.tbc-gakuin.jp/common/pdf/2022/02.pdf</a>
事業報告書	学院ホームページ <a href="https://www.tbc-gakuin.jp/common/pdf/2022/01.pdf">https://www.tbc-gakuin.jp/common/pdf/2022/01.pdf</a>
監事による監査報告（書）	学院ホームページ <a href="https://www.tbc-gakuin.jp/common/pdf/2022/02.pdf">https://www.tbc-gakuin.jp/common/pdf/2022/02.pdf</a>

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生分野		専門課程	トータルビューティ学科 エステコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,860 単位時間	630 単位時間		1,230 単位時間		
		1,860 単位時間					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60人		72人のうち 40人	1人	3人	16人	19人	

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生分野		専門課程	トータルビューティ学科 メイク・ネイル・ブライダル ビジネスコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,860 単位時間	630 単位時間		1,230 単位時間		
		1,860 単位時間					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60人		72人のうち 32人	0人	3人	16人	19人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前年度のシラバスを鑑みて、各科目担当教員より意見等を聴取し検討。また、教育課程編成委員からの助言も組み入れシラバスを作成。</li> <li>・各種養成施設の指定を受けている学科については、養成施設の規則に則り、授業科目やシラバスを作成する。</li> </ul>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>成績評価および単位認定について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各授業科目の成績評価は、A、B、C、Dの4段階としC以上を合格として単位を認定する。</li> <li>・各授業科目の評価は、出席状況、各種試験、課題報告ならびに必要と認められる学習作業の結果を総合して行う。</li> <li>・総合評価は6割以上の得点をもって合格とする。</li> <li>・出席時間数が各授業時間の80%に満たない場合には、原則として単位を認めない。 但し、養成課程については更にそれぞれの規程に従うものとする。</li> </ul>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>進級・卒業の要件について</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①進級、卒業認定基準を満たしている者。</li> <li>②学費等が全納されている者</li> </ol> <p>上記の要件を満たし進級、卒業認定会議によって認定された者。 なお、①については「成績評価および単位認定について」と同様である。</p>
学修支援等
<p>（概要）</p> <p>学費給付試験Ⅰ・Ⅱ，グループ出願奨学金制度，特別奨学生試験 チャレンジAO小論文試験，家族入学奨学金制度，卒業生奨学金制度</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
22人 (100%)	0人 (%)	19人 (86.4%)	3人 (13.6%)
<p>(主な就職、業界等)</p> <p>エステティックサロン, 化粧品メーカー, ネイルサロン 等</p>			
<p>(就職指導内容)</p> <p>礼法指導, 企業研究, 履歴書の書き方, 面接指導 等</p>			
<p>(主な学修成果(資格・検定等))</p> <p>認定エステティシャン, ネイリスト検定, 色彩検定 等</p>			
<p>(備考) (任意記載事項)</p>			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
62人	4人	6.4%
(中途退学の主な理由) ・学校生活不適應 ・進路変更 ・病氣療養		
(中退防止・中退者支援のための取組) ・個人面談 ・家庭連絡 ・保護者面談 ・家庭訪問等		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士	
衛生分野		専門課程	美容学科	○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類			
			講義	演習	実習	実験
2年	昼	2,335 単位時間	735 単位時間		1,600 単位時間	
			2,335 単位時間			
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人	70人	0人	3人	7人	10人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) ・前年度のシラバスを鑑みて、各科目担当教員より意見等を聴取し検討。 また、教育課程編成委員からの助言も組み入れシラバスを作成。 ・各種養成施設の指定を受けている学科については、養成施設の規則に則り、 授業科目やシラバスを作成する。
成績評価の基準・方法
(概要) 成績評価および単位認定について ・各授業科目の成績評価は、A、B、C、Dの4段階としC以上を合格として 単位を認定する。 ・各授業科目の評価は、出席状況、各種試験、課題報告ならびに必要と認 められる学習作業の結果を総合して行う。 ・総合評価は6割以上の得点をもって合格とする。 ・出席時間数が各授業時間の80%に満たない場合には、原則として単位 を認めない。 但し、養成課程については更にそれぞれの規程に従うものとする。
卒業・進級の認定基準
(概要) 進級・卒業の要件について ①進級、卒業認定基準を満たしている者。 ②学費等が全納されている者 上記の要件を満たし進級、卒業認定会議によって認定された者。

なお、①については「成績評価および単位認定について」と同様である。
学修支援等
(概要) 学費給付試験Ⅰ・Ⅱ，グループ出願奨学金制度，特別奨学生試験 チャレンジAO小論文試験，家族入学奨学金制度，卒業生奨学金制度

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
31人 (100%)	1人 (3.2%)	29人 (93.5%)	1人 (3.2%)
(主な就職、業界等) 美容室，エステティックサロン 等			
(就職指導内容) 礼法指導，企業研究，履歴書の書き方，面接指導 等			
(主な学修成果（資格・検定等）) 美容師，色彩検定 等			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
69人	5人	7.2%
(中途退学の主な理由) ・学校生活不適應 ・進路変更 ・病氣療養		
(中退防止・中退者支援のための取組) ・個人面談 ・家庭連絡 ・保護者面談 ・家庭訪問等		



分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生分野		専門課程	ブライダル・ホテル 学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,890 単位時間	960 単位時間		930 単位時間		
			1,890 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60人		20人	2人	2人	9人	11人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前年度のシラバスを鑑みて、各科目担当教員より意見等を聴取し検討。また、教育課程編成委員からの助言も組み入れシラバスを作成。</li> <li>・各種養成施設の指定を受けている学科については、養成施設の規則に則り、授業科目やシラバスを作成する。</li> </ul>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>成績評価および単位認定について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各授業科目の成績評価は、A、B、C、Dの4段階としC以上を合格として単位を認定する。</li> <li>・各授業科目の評価は、出席状況、各種試験、課題報告ならびに必要と認められる学習作業の結果を総合して行う。</li> <li>・総合評価は6割以上の得点をもって合格とする。</li> <li>・出席時間数が各授業時間の80%に満たない場合には、原則として単位を認めない。 但し、養成課程については更にそれぞれの規程に従うものとする。</li> </ul>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>進級・卒業の要件について</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①進級，卒業認定基準を満たしている者。</li> <li>②学費等が全納されている者</li> </ol> <p>上記の要件を満たし進級，卒業認定会議によって認定された者。 なお、①については「成績評価および単位認定について」と同様である。</p>
学修支援等
<p>（概要）</p> <p>学費給付試験Ⅰ・Ⅱ，グループ出願奨学金制度，特別奨学生試験 チャレンジAO小論文試験，家族入学奨学金制度，卒業生奨学金制度</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
12人 (100%)	0人 (%)	8人 (66.7%)	4人 (33.3%)
(主な就職、業界等) 結婚式場, ホテル 等			
(就職指導内容) 礼法指導, 企業研究, 履歴書の書き方, 面接指導 等			
(主な学修成果(資格・検定等)) 認定ウェディングプランナー, 認定ドレスコーディネーター 等			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
19人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) ・個人面談 ・家庭連絡 ・保護者面談 ・家庭訪問等		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
トータルビューティ学科	100,000 円	600,000 円	280,000 円	施設設備費
美容学科	100,000 円	600,000 円	290,000 円	施設設備費
ブライダル・ホテル学科	100,000 円	600,000 円	290,000 円	施設設備費
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 当校ホームページ <a href="https://www.oyama.ac.jp/information.html">https://www.oyama.ac.jp/information.html</a>		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 当校の教育方針である「資格取得に重点をおいた実務教育の重視」「即戦力としてのスペシャリストの育成」「学ぶことを大切にした教育」に則り、学校評価委員会を設置し調理業界はもとより、各種業界で活躍されている有識者よりご意見をいただき、学校運営・授業へ反映させていく。 ◆主な評価項目：①教育理念・目標 ②学校運営 ③教育活動 ④学修成果 ⑤学生支援 ⑥教育環境 ⑦学生の受け入れ募集 ⑧財務 ⑨法令等の遵守 ⑩社会貢献・地域貢献等 ◆評価委員会の構成：企業関係者、業界団体、卒業生、PTA、地域住民の各分野から最低1名を選任。 ◆評価結果の活用方法：夏季休業期間に学校関係者評価委員会を開催し前年度を対象に評価を受け、当該年度もしくは当該年度以降の活動に改善方策等を取り入れ活動する。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
地域代表	令和4年4月1日～ 令和5年3月31日	地域代表
保護者代表	〃	PTA
保護者代表	〃	PTA
卒業生代表	〃	卒業生代表
(一社) 栃木県自動車整備振興会	〃	企業等委員
亀田自動車株式会社	〃	〃
株式会社シンコー	〃	〃
茨城県印刷工業組合	〃	〃

おやまくまる一む	令和4年4月1日～ 令和5年3月31日	企業等委員
栃木県文化協会	〃	〃
株式会社 lifetone music	〃	〃
有限会社 PCCS	〃	〃
全日本司厨士協会栃木県支部	〃	〃
和風ダイニング彩華	〃	〃
栃木県洋菓子協会	〃	〃
ロワイヤル	〃	〃
エステティックサロン LUANA	〃	〃
一般社団法人 国際美容協会	〃	〃
(有)マジックコーポレーションリミテッド	〃	〃
Heatfulone	〃	〃
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 当校ホームページ <a href="https://www.oyama.ac.jp/information.html">https://www.oyama.ac.jp/information.html</a>		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 当校ホームページ <a href="https://www.oyama.ac.jp">https://www.oyama.ac.jp</a>
---

(別紙)

※この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校名	国際テクニカル美容専門学校
設置者名	学校法人ティビィシィ学院

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		15人	15人	30人
内 訳	第Ⅰ区分	10人	9人	
	第Ⅱ区分	-人	-人	
	第Ⅲ区分	-人	-人	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				30人
(備考)				

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。） 、高等専門学校（認定専攻科を含む。） 及び専門学校（修業年限が2年 以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了 できないことが確定	人	0人	0人
修得単位数が標準単位数 の5割以下 (単位制によらない専門学校に あつては、履修科目の単位時間 数が標準時間数の5割以下)	人	0人	0人
出席率が5割以下その他 学修意欲が著しく低い状況	人	0人	0人
「警告」の区分に 連続して該当	人	0人	0人
計	人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であつて、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。） 、高等専門学校（認定専攻科を含む。） 及び専門学校（修業年限が2年 以下のものに限る。）			
年間	人	前半期	0人	後半期	0人

- (3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の6割以下)	人	0人	0人
G P A等が下位4分の1	人	0人	0人
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況	人	0人	0人
計	人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。